

4-①. 大阪NPOプラザ(ONP)運営事業

— 総合的なNPO支援機能の充実と安定運営を目指す

大阪NPOプラザの管理運営が始まって第1期5年を終え、第2期4年目（9年目）を迎えた。パレットカフェの実施や、ONPサポートプログラムの運営、サービス内容の見直しなどを引き続き行うとともに、第2期終了後の見通しがはっきりしない中で、新拠点を探し出し早めにブースを退出する団体も出てき始めているため、収入の減少も見据えた運営が必要となった。

1. 大阪NPOプラザ(ONP)を構成する入居、ブース利用団体

1階NPO多機能ブーススペースは、2010年度に新たに10団体が利用を開始した。また、「新拠点が見つかった」「ブース利用期限を迎えた」などの理由で、10団体がブースを退出した。ブースを卒業する団体で、連絡先だけは引き続きONPに置きたい団体を対象とした新サービスとして「NPOフォローアップブース」を新たに設置。1団体が利用している。2階NPO支援フロアは、団体の入れ替わりはなかった。

【NPO支援フロア入居団体】全7団体

100号室	(社福)大阪ボランティア協会
201号室	(特活)大阪NPOセンター
203号室	(特活)ちゃいるどネット大阪
204号室	(特活)福祉活動と福祉教育の推進協会あすなろ
205号室	(特活)日本病院ボランティア協会
206号室	(特活)シニア自然大学校
207号室	(特活)関西こども文化協会

【NPO多機能ブーススペース利用団体】M：24団体、L：3団体（入替あり）

101号室	NPO支援ブース	(特活)キャンピズ
102号室	ソフト活用ブース	ピア・ハートひまわり[~2010年8月]
	NPOトライアルブース	Social Marketing Labo. [2010年10~3月]
103号室	ハード活用ブース	(特活)チャイルド・リソース・センター[~2010年4月]
	NPOトライアルブース	(特活)環境技術支援協会[2010年9月~]
104号室	ソフト活用ブース	(特活)福祉サービス評価WACCH
105号室	ソフト活用ブース	ベージェット病友の会大阪府支部
106号室	ソフト活用ブース	(特活)遺族支え愛ネット
107号室	ハード活用ブース	(特活)地球環境大学[~2010年11月]
	NPOトライアルブース	大阪がん医療の向上をめざす会[2011年1月~]
108号室	ソフト活用ブース	(特活)発達障害をもつ大人の会
109号室	ソフト活用ブース	関西音声サポート
110号室	ソフト活用ブース	(特活)地域情報化推進機構
111号室	ハード活用ブース	(特活)大阪交通事故被害者救済センター[~2010年7月]
	NPOトライアルブース	(特活)不動産消費者保護支援機構[2010年9月~]
112号室	NPO支援ブース	(特活)NPO政策研究所
113号室	ソフト活用ブース	創作サポートセンター
114号室	ソフト活用ブース	空きブース[~2010年9月]
		日本家族・子どもケア研究会[2010年10月~]
115号室	NPOトライアルブース	(特活)里山サロン[2010年4~11月]
	NPOトライアルブース	True Colors[2010年12月~]
116号室	ソフト活用ブース	(特活)スマートらいふネット
117号室	ソフト活用ブース	(特活)GIS総合研究所
118号室	ソフト活用ブース	患者の権利オンブズマン関西

119号室	ソフト活用ブース	(特活)みどり大阪
120号室	ソフト活用ブース	園芸療法研究会西日本[~2010年12月] (特活)大阪市計量協会[2011年1月~]
121号室	ソフト活用ブース	(特活)国際文化財研究センター
122号室	ハード活用ブース NPOトライアルブース	(特活)障害者の自立支援を考える会[~2010年6月] (特活)日本愛護クラブ[2010年9月~]
123号室	NPOトライアルブース	住みよいまち&絆研究所[2010年4月~]
124号室	ハード活用ブース	(特活)消費者相談センター
131号室	ソフト活用ブース NPOトライアルブース	(特活)国際子ども権利センター大阪事務所[~2010年8月] (特活)C&G Solution[2010年9月~2011年3月]
132号室	ソフト活用ブース	(特活)NICE日本国際ワークキャンプセンター
133号室	ソフト活用ブース ソフト活用ブース	(特活)流通動学研究所[~2011年1月] 園芸療法研究会西日本[2011年2月~] ※復活利用

【NPOフォローアップブース利用団体】全1団体

141号室	フォローアップブース	(特活)地球環境大学[2010年12月~]
-------	------------	-----------------------

2. 大阪NPOプラザ(ONP)で実施された様々な動き

NPO支援の拠点として2010年度に実施した取り組みは次の通りである。

(1) ONPの自治的運営に関わる取り組み(ONP運営協議会)

ONPの運営を入居・利用団体とともに考える場として「ONP運営協議会」を開催した。

主な議題は、経営状況/敷地内全面禁煙について/大阪NPOプラザの2012年4月以降の行く末について/貸会議室の利用ルール変更/ブース卒業団体を対象とした電話設置サービスの設置など。特に、第23回運営協議会以降は、大阪NPOプラザ第2期が2012年3月末で終了した後の行く末について、大阪府府民文化部の担当者にも出席いただき、大阪府内での検討状況や意見交換などを行った。

- 第22回 開催日：2010年5月20日(木) 参加：19人(15団体)
- 第23回 開催日：2010年9月15日(水) 参加：17人(13団体)
- 第24回 開催日：2010年11月12日(金) 参加：17人(12団体)
- 第25回 開催日：2011年1月13日(木)、1月17日(月) 参加：23人(18団体)
- ※ 大掃除と交流会を2010年12月17日(金)に開催。団体間の交流の場とした。
- ※ 消防訓練を福島消防署と入居利用団体の協力を得て、2010年9月8日(水)と2011年3月9日(水)に実施した。

(2) ONP評価研究委員会

NPO支援機能をもった団体の選定・評価機関として2007年度より新たに設置。10年度は、NPO支援フロア入居団体の新規入居もなかったため、開催しなかった。

- 委員：近畿大学 吉田忠彦、(特活)関西国際交流団体協議会 高羽淳一、
(特活)市民活動フォーラムみのお 須貝昭子、(社福)大阪ボランティア協会 永井美佳

(3) ONPインキュベーション研究会

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体の審査・評価機関として2007年度より新たに設置。「ONPサポートプログラム」によるサポートのケース検討など運営支援や事業進捗ヒヤリングでのアドバイスをを行った。

- アドバイザー：(特活)市民が支える市民活動ネットワーク滋賀 阿部圭宏
とよなかインキュベーションセンター 奥田三枝子
(社福)大阪ボランティア協会 永井美佳
- 第12回 開催日：2010年8月10日(火) 内容：2年度目団体選考

- 第13回 開催日：2010年9月28日（火） 内容：ケース検討会
 ○第14回 開催日：2010年12月22日（水） 内容：2年度目団体選考
 ○第15回 開催日：2011年2月24日（木） 内容：事業進捗ヒヤリング、2年度目団体選考

【ONPサポートプログラム】

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体に、NPO支援機能をもつ団体から選出されたサポーターを担当として配置し、事業や運営面で必要なアドバイスや支援メニューの紹介、必要な社会資源とのコーディネートなどを行うことで団体運営を側面から応援するプログラムとして、2007年度から開始した。

2010年度は10人のサポーターがソフト活用ブース13団体のサポートを行った。

号数	団体名	サポーター名
104号	(特活)福祉サービス評価WACCH	直田 春夫 (特活) NPO政策研究所
105号	ベテネット病友の会大阪府支部	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
108号	(特活)発達障害をもつ大人の会	堀野 亘求 (特活) 大阪NPOセンター
110号	(特活)地域情報化推進機構	岡村こず恵 (社福) 大阪ボランティア協会
113号	創作サポートセンター	影浦 弘司 (社福) 大阪ボランティア協会
116号	(特活)スマートらいふネット	柳瀬真佐子 (特活) 関西子ども文化協会
117号	(特活)GIS総合研究所	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
118号	患者の権利オンブズマン関西	白井 恭子 (社福) 大阪ボランティア協会
119号	(特活)みどり大阪	金治 宏 (社福) 大阪ボランティア協会
131号	(特活)国際子ども権利センター大阪事務所[~2010年8月]	江渕 桂子 (社福) 大阪ボランティア協会
132号	(特活)NICE日本国際ワークキャンプセンター	西川 正人 (社福) キャンピズ
133号	(特活)流通動学研究所[~2011年1月]	奈良 雅美 (社福) 大阪ボランティア協会
133号	園芸療法研究会西日本	影浦 弘司 (社福) 大阪ボランティア協会

3. 大阪NPOプラザ(ONP)の全体的利用状況

(1) NPO多機能ブーススペース

NPO多機能ブーススペースでは、独立した事務所機能が必要なNPOに貸ブースを提供。2010年3月末での利用数は、Mブース24団体、Lブース3団体だった。また、ブースの種別は、NPO支援ブース2団体、ソフト活用ブース14団体、ハード活用ブース1団体、トライアルブース10団体となっている。

ブース毎月利用団体数状況（のべ利用日数は2, 434日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用団体数	26	25	25	24	23	25	27	27	26	27	27	27
内、退出数	1	0	1	1	2	0	0	2	1	1	0	2
内、新規利用数	2	0	0	0	0	4	2	0	1	2	1	0
空き数	1	2	2	3	4	2	0	0	1	0	0	0

(2) NPO支援フロア

NPO支援や連携促進を進めるNPO支援機能を持った7団体が入居。各団体での事業を進めるとともに、ONP運営に関しては、ONPサポートプログラムなどについて協力して取り組んだ。

(3) 情報交流スペース、NPOワークステーションなどの利用状況

市民が気軽に立寄り、情報を得られることもONPの重要な機能の一つである。ONPにはNPOに関するイベント情報やニュースレターを入手にできる「情報交流スペース」、03年度に開設した「ボランティア・市民活動ライブラリー」がある。ONPに届いた広報依頼件数などの詳細は第1章の「広報依頼」でも報告している。

加えて、NPOワークステーションでは、印刷機（2台）や紙折機（2台）、利用登録団体向けに貸ロッカーと貸レターケースの提供も行っている。

- ・印刷機利用回数 823件（昨年937件）
- ・貸ロッカー 49件（昨年46件）
- ・貸レターケース 6件（昨年8件）

（4）パレットカフェの実施

ONPでは交流事業の一環として情報交流スペースの活性化、およびONP利用者の交流を目的に「パレットカフェ」を開催している。

2010年度は土曜日および水曜日に開催（全25回）し、500人以上の利用者に飲み物の提供を行なった。単発イベントでの交流、タイで活動する団体からのコーヒー寄贈など、ONP入居利用団体と共にカフェに取り組んだ。今後は利用者の声を起点に、頻度を上げて月3回カフェを継続開催し、ONPでの新たな関係づくりに取り組んでいきたい。



「パレットカフェ」の様子

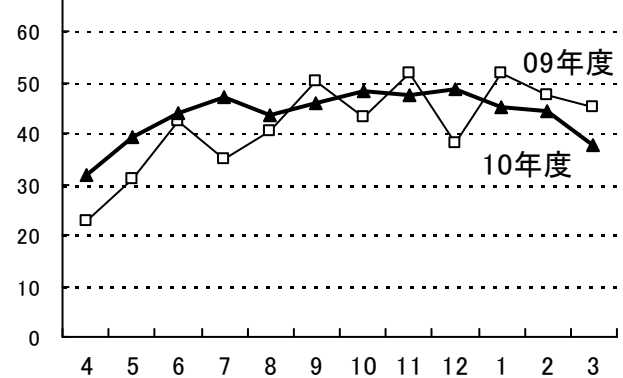
（5）ONP利用登録団体

2010年度の新規登録団体は32団体であった。

（6）貸会議室（図4-1）

貸会議室貸出はNPO支援メニューの一つであるとともに、大阪NPOプラザの自主財源の一つでもある。本年度の利用率年間平均は43.7%と、昨年度（41.6%）を2.1%上回る結果となった。

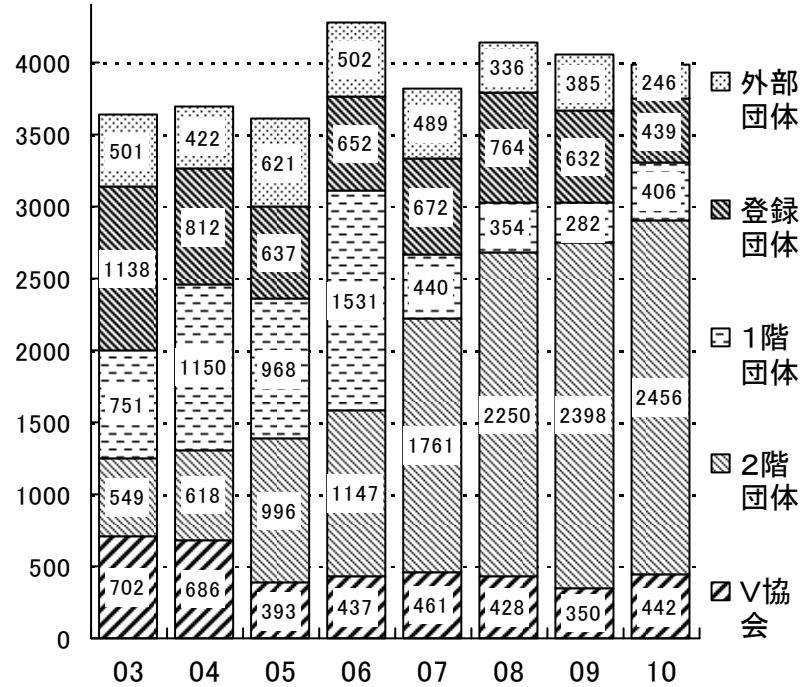
図4-1 貸会議室の月別利用率



団体種別利用数（図4-2）

2010年度も支援フロアやブース利用団体の利用が多く、両者で全利用件数の72%を占めた。外部団体の利用は全体の10%に満たないが、利用料金が登録団体や入居利用団体より割高であるため、貴重な収入源となっている。

図4-2 団体種別の会議室利用数



4. 大阪NPOプラザ(ONP)の経営状況

2010年度は、計画よりもやや実績が下回る結果となったものの、前述のとおり一定の成果を出すことができた。利用実績としては、1階の全27ブースの利用状況は、8月までは空きブースが微増する状況にあったが、下半期に向けて利用団体の募集を努力して、3月には全ブースを満室にすることができた。2階の全6事務所は入退室なく満室を維持し、また貸会議室は下半期に実績回復に向けて健闘した。財政面としては、一部修繕費積立金の取り崩しを行ったが、おおむね予算どおりの収支均衡を保つことができた（第9章で詳しく分析している）。

2011年度は、ONP第2期の最終年度につき、ONP10年間の取り組みについて入居利用団体や関係者を交えて総括するとともに、大阪における市民活動・NPO総合拠点の今後のあり方についても提言を行いたい。